

① 能樂界

▲田中耕作追悼能樂 二十一日午前九時より押小路柳馬場東入大江能樂堂に於て故田中耕作追悼會あり會主は田中耕吉に於て其の番組は

片山九郎三郎 山口元敏 谷口喜三郎 吉原芳之助
山 姥 山田 元敏 高井 孝吉 杉 治郎助
辻年翁 藤田和三郎 筒井 治郎 武田市太郎

杜 若 若山 峻 谷口喜三郎 前川 光隆
片山九郎三郎 高井 孝吉 杉 治郎助

正 尊 田中 耕吉 林 吉 造 前川 光三
南 紫 白 曾和 敏堂 野 貴 三
大江又三郎

石 橋 中村猪八郎 林 吉 造 前川 光隆
▲附祝言、二千石(茂山良一)盆山(茂山眞一)呂運(茂山良三)等(茂山千五郎)

▲金剛能樂堂能樂 二十四日午後五時より金剛能樂堂に於て第二會能樂あり其の番組は

金剛能樂之助 谷口喜三郎 杉 治郎助
小袖曾我 久富 正夫 杉 治郎助
金剛能樂 谷口喜三郎 前川 光隆
郡 野 谷田民之助 曾和 敏堂 杉 治郎助

謡曲界

③ 観遊社春季大會 同社三部合併の春季大會は来る廿二日正午より寺町四條下る大雲院方丈に於て催すが番組は

小謡(近藤豊丸)右近(小坂普三、小西保良、長谷川遊作、長澤四兵、佐々木佐良、中郷利良)(青年)俊成忠則(能楽)

鶴作、山下進作、田中増作、近藤豊高(放下僧)横山久良、井上万作、梅原一頁(少年)千手(中村賢作、吉田太良、田中成作)仲光(田中高作、井上治作、毛利正良、中村晋作、近藤豊重)(青年)弱法師(堀井隆作、藤本龜作、青年部獨吟)本藤作、杉井壽作、西井豊良(青年)鉢木(鈴木木觀作、中塚加作、赤堀福作)祝言(近藤豊作)獨調、鐵輪(井上治作、小殿田村松之助)經上(赤堀福作)太鼓(吉原芳之助)女耶花(櫻井壽作、田村松之助)善知鳥(瀧本藤作、山村松之助)鞍馬天狗(西井豊良、吉原芳之助)

U1910.0520b

謡曲界

④ 神謡社謡曲會 廿一日午後七時より御池堀八幡宮内に於て神謡社謡曲會を開催する由其の番組は
合甫、頼政、大原口幸、善知鳥、土蜘蛛

U1910.0521b

謡曲界

⑤ 青謡社奉納謡會 二十五日夕より下御靈神社々務所に於て催すが番組は
小謡(西田信一)▲鶴岡(三浦清次郎、松井保三、後藤良一)▲頼政(石橋定次郎、諏訪道太郎)▲雲雀山(松井正好、河原孝之助、善積福壽)▲善知鳥(小谷富次郎、秋重次、庵原信重)▲夜討曾我(長尾長次郎、海老名貞次郎、天野進次、水村磯七郎、久保真之助)▲祝言

⑥ 若聲座謡會 二十五日午後一時より北野俱樂部に於て催すが番組は
小謡(山口秀)▲蝦蟇(大橋竹三、●村喜照)▲實盛(河合英夫、山口夫)▲富士大鼓(五辻博善、山口一頁、武田千幸)▲笛麻(吉田碧、小西嘉一郎、藤中謙秀)▲正綱(山下藤四郎、大北又次郎、山口信一、大北茂)▲祝言(曾和敏堂)

⑦ 観遊社の春季大會 同會は一昨日寺町大雲院方丈にて催されしが既定の番組通り謡曲獨吟一調囃子十數番あり中にも田中高作氏の「仲光」堀井隆作氏の「弱法師」鈴木觀作氏の「鉢木」の開きあり遠がに熱心なる唄取りにて二百餘名の聴衆に片唾を嚙んで傾聴せしめたるは、大手柄なりき會終つて祇園中村樓に盛大なる宴を張り歡を盡して散會したるは十時なりき

U1910.0524b

でんおん連続講座D「謡を楽しむ文化―京観世とその周辺」
二〇一三年十一月六日（水） 於 京都市立芸術大学 新研究棟7階合同研究室1
第5回「禁裏・仙洞能における京観世の謡―岩井直恒を中心に―」 長田 あかね

一、禁裏御所・仙洞御所における能の催しについて

①表の能 公式の催し

原則春秋二回 即位・改元に伴う御祝儀能等

翁付脇能に祝言尾能の形

②御内々の能 私的な催し

有卦入り及び明けの祝儀 月見の催し 内々の御慰み等

翁や祝言尾能なし

囃子・一調などが加わる

二、岩井直恒を中心とした岩井家の人々の出演について

①『禁裏仙洞御能之記』（宮内庁書陵部所蔵）全六冊

元禄十六年三月四日～天明六年六月十六日まで

＊第六冊目（安永四年六月～安永十年二月）欠

＊筆録者によって書式がまちまち

↓第三～五・七冊目（元文元年～天明六年）を調査

②岩井家の人々

◇岩井直恒（四代岩井七郎右衛門道順） 享和二年（一八〇二）七十五歳没

幼名新之丞、または貞之丞 後忠助

◇岩井龜代治 直恒弟 三代目岩井七郎右衛門道修次男

寛政八年（一七九六）三十六歳没

◇岩井信精（五代岩井七郎右衛門） 文政十三年（一八三〇）七十八歳没

幼名新之丞

③役種

地謡 直恒 ＊番組に記録されにくい

ツレ 龜代治 信精

＊シテが片山家の場合に限定される

片山九郎右衛門（二世豊慶・慶助）・同（三世豊正）・片山九郎兵衛（二世豊慶子）

シテ ＊直恒の少年時代 祝言 千歳役も担当

独吟 一調 素謡 舞囃子 仕舞

◎番組を概観する限りでは、明和・安永・天明年間の岩井家の御所での活動が目立つ。

三、岩井家以外の京観世の人々

林喜右衛門 林喜十郎

菌久兵衛 菌源助

井上次郎右衛門

＊岩井家とほぼ同様の活動

四、「寛政八年十月仙洞御所素謡番組写シ」 寛政八年（一七九六）十月二日

仙洞御所における岩井家による素謡会の催し かなり名譽な機会

岩井忠助（直恒） 岩井七郎右衛門（信精） 岩井政太郎（六代直忠？） ＊子方

その他は岩井家の門弟か？

五、京観世の人々の活動場所

・禁裏御所・仙洞御所への出勤は大変名譽なことであり、もつとも重要な出演機会であつたとみられる。

・十五世観世太夫元章が音阿弥三百回忌法要のため関西に上り、明和九年八月七日に仙洞御所で演能した際には、岩井家の人々の名前は番組には記載されていない。地謡として出演した可能性はある。

「寛政八年十月仙洞御所素謡番組写シ」

寛政八年丙辰十月二日

仙洞御所様 御素謡

小謡 岩井七郎右衛門

高砂 岩井七郎右衛門

ツレ八木庄兵衛

ワキ本富孫兵衛

立衆南部四郎三郎

同 石田啓治郎

八嶋 富田清助

ツレ湯浅九助

関寺小町 ワキ小佐治右衛門尉

ワキ進藤但見

ツレ瀧伊兵衛

唐船 岩井忠助

日本子岩井政太郎

同 嶋田重蔵

唐子 岩田作十郎

小原善治郎

ワキ 芥川利助

大仏供養 岩井七郎右衛門

母 大森善次

頼 山下惣三郎

ワキ藤本長蔵

立衆福知原助

同 清水監物

御乞関寺小町ノ次

三井寺 進藤但見

子 岩井政太郎

ワキ安見又兵衛

ツレ藤井新助

同唐船之次

安宅 岩井忠助

判 清水治助

山ツレ佐々木将監

同 西邸吉右衛門

同 福知源助

同 草保嘉市

同 南部四郎三郎

同 大森善次

ワキ 廣田原次

附祝言 岩井七郎右衛門

御乞

敦盛 サシクセ廣田源治

巻綿 同 岩井七郎右衛門

松風 ロンキ廣田源治

湯浅九助

俊成忠則 サシクセ平富孫兵衛

鉢木 ロンキ進藤但見

岩井忠助

あこやの松 岩井七郎右衛門

琴之段 嶋田金蔵

岩田作十郎

景清 万事ハ皆夢之内ニ 岩井忠助

雨月 軒端の松に 本富孫兵衛

阿漕 後シテニ切迄 富田清助

八木庄兵衛

一字題 岩井忠助

笠の段 小原吉治郎

岩井政太郎

四季 廣田原治

半部 実物すこきニ曲トメ迄 八木庄兵衛

石田 治郎

須磨源氏 進藤但見

熊野 ロンキ本富孫兵衛

大森善治

鉄輪 あしかれとニ 藤本長蔵

融 □□ニ中入迄 岩井七郎右衛門

廣田源治

右之番組ハ京都府下仙洞御所

ニ於テ去ル寛政八年丙辰十月

二日此内の員数之謡有二付是二

書写尚又掛物ハ富田清助方

ハ被遣候

明治十年十二月十八日認候之

岩井榮月

禁裏・仙洞御所岩井家出演一覧

冊	年月日	西暦	番組名	シテ	役種	岩井家
三	元文4年10月13日	1739	御能		シテ	祝言(養老)シテ岩井新之丞
三	寛保1年10月26日	1741	禁裏御所御能		シテ	俊成忠則シテ岩井新之丞
三					シテ	祝言(金札)シテ岩井新之丞
三	延享2年3月9日	1745	禁裏御所御能		シテ	翁千歳岩井貞之丞
五	明和9年9月14日		禁裏御所御催		独吟	嶋廻り(独吟)岩井七郎右衛門
五					独吟	右近(論義)岩井七郎右衛門
五					一調	八嶋切(一調)七郎右衛門
五					一調	女郎花(一調)七郎右衛門
五	安永2年2月18日	1773	禁裏御所御能	榎嶋シテ片山九郎右衛門	子方	童子岩井龜代治
五	安永2年6月2日		禁裏御所御内々		素謡	雨月岩井七郎右衛門ツレ岩井新之丞
五	安永2年6月16日		禁裏御所御内々之御囃子	江口シテ片山九郎右衛門	地謡	地岩井七郎右衛門(口印江口シテ片山九郎右衛門)
五	安永2年6月18日		仙洞御所御内々御囃子		素謡	木賊岩井七郎右衛門・ツレ岩井新之丞・子方岩井龜代治
五	安永2年8月27日		禁裏御所素謡仕舞		素謡	三井寺岩井七郎右衛門・子岩井龜代治・ワキ岩井新之丞
五					地謡	同音七郎右衛門
五	安永3年5月22日		禁裏御所御内々御催		番謡	俊寛(一番謡)岩井七郎右衛門
七	安永10年3月5日		禁裏御能組	高砂シテ片山慶助 1	ツレ	ツレ岩井龜代治
七				大仏供養シテ片山九郎右衛門	ツレ	從者? 龜代治
七			後朝	烏帽子折シテ九郎兵衛 7	ツレ	立衆岩井龜代治
七	天明元年5月5日	1781	御内々	通盛シテ片山九郎右衛門 2	ツレ	連岩井龜代治
七	天明元年9月15日		禁裏御所御能	正尊シテ片山九郎右衛門 6	ツレ	静御前岩井龜代治
七	天明元年12月18日		禁裏御所御内々之御能囃子	俊寛シテ片山慶助 1	ツレ	康頼岩井龜代治
七	天明2年2月27日		禁裏御所御能/御能組	山姥シテ片山慶助 8	ツレ	連岩井龜代治
七	天明2年3月10日		仙洞御所	熊野シテ慶助 3	ツレ	連岩井龜代治
七	天明2年3月26日		禁裏御所/御内々御能組	忠信シテ九郎右衛門 6	ツレ	立衆岩井龜代治
七	天明3年5月晦日		仙洞御所御内々	大仏供養(※御乞御囃子)シテ片山九郎右衛門 2(囃子2番のう)	ツレ	若武者岩井龜代治
七	天明3年3月6日		御能組	鉢木シテ九郎兵衛 6	ツレ	連岩井龜代治
七	天明3年秋		天明三年秋御延引/御能組 ※注記「此御能御能奉行書留所見無之御延引ニテ後月不被催力」	舍利シテ九郎兵衛 7	ツレ	連岩井龜代治
七	天明4年12月22日		記載なし	大会シテ九郎右衛門 5	ツレ	連岩井貞之丞
七	天明5年5月7日		御能組	舍利シテ九郎兵衛 御乞半能	ツレ	連岩井貞之丞

七	天明5年5月19日		仙洞御所御内々 番組冒頭に「御	江口シテ九郎右衛門 3	ツレ	連岩井貞之丞
七	天明5年9月27日		禁裏御所 御能組	兼平シテ岩井貞之丞 2		
七	天明6年5月22日		素謡御番組			
七	天明6年5月28日		禁裏御所 御囃子	敦盛シテ九郎右衛門 2	ツレ	連岩井貞之丞

錦戸(御乞仕舞)片山九郎右衛	仕舞ワキ	錦戸岩井貞之丞
竜虎(御囃子)片山九郎兵衛	舞囃子ツ	連岩井貞之丞